**戸板短期大学緊急時作業マニュアル（災害時のマウス・ラットについて）**

2015. 12作成

戸板女子短期大学

**地震、火災時にとるべき措置について**

1. 地震・火災時には、原則的に飼育装置および飼養保管施設の施錠を行うこととし、作業する動物実験実施者の生命に危険が及ばない程度に、遺伝子組み換え動物を建物外（自然界）に出さないよう封じ込めるなどの措置を行う。
2. 災害発生時の措置

１）災害時措置については、平成24年10月に作成された本学の災害時対応マニュアル（教職員用）に従う。

２）飼養・保管施設あるいは教室内（動物を含む）の被害状況を把握する。

３）実験実施者の安否を確認し、具体的な復旧対策を練る。

４）動物の逃走、死亡の確認を行う。

５）給餌・給水体制の確認、飼育室の衛生処理等の復旧を行う。

６）被害の状況により、水や飼料の確保が難しい場合は、人道的な方法を用いて

動物は安楽死処分する。